

北九州市 民児協だより

支え合う
住みよい社会
地域から

第54号
令和6年9月1日発行



●発行／北九州市民生委員児童委員協議会 ●発行者／会長 中杉 長男 ●企画・編集／広報委員会
〒804-0067 北九州市戸畠区汐井町1番6号 ウエルとばた8階 北九州市社会福祉協議会内 ☎093-873-1296/FAX093-873-1351

主任児童委員制度創設30周年

- こどもまんなか社会
の実現に向けて -

子どもや子育てに関する課題の多様化に対応するため、平成6（1994）年に主任児童委員制度が創設されました。令和6（2024）年1月に制度創設30周年を迎えるなか、子ども・子育て家庭をめぐる社会的背景や課題は大きく変化しています。担当地区（世帯）をもたない特徴を持つ主任児童委員は、「こどもまんなか社会」の実現に向け、その強みや役割をいかして活動する必要があると同時に、世帯担当委員は主任児童委員の役割を適切に理解し相互連携を図る必要があります。

また、地区民児協においては、主任児童委員を孤立させず、基盤組織として継続的にサポートしていくことが求められます。



主任児童委員の 主な役割

○「地域の身近なおとな」として、地域の状況に目を向け、「子どもの声」を聞き関係者に伝える

○地区的状況を把握している児童委員と連携を図り、地域の子ども・子育て家庭の困りごとを把握する

○子ども家庭相談コーナー・子ども総合センター、児童福祉施設や子ども・子育てに関する関係機関との連携強化に向けた連絡調整を行う

【社会的背景と子どもや子育てをめぐる主な課題の変化】

※出典：全民児連「ひろば第852号」



制度創設時	少子化の進行、核家族化の進行 出産・子育てに関する不安・ストレス 児童虐待 いじめや不登校 (顕在化・深刻化・多様化)など
-------	---

現在の状況	人口減少社会・少子化の加速・新型感染症の拡大に伴う影響 価値観・養育力の多様化・弱体化 児童虐待、いじめ・不登校、ひとり親の社会的孤立 困窮世帯の拡大、情報社会の進展、多文化共生 ヤングケアラー、性の多様性、犯罪に巻き込まれる子ども 結婚や子育てに将来展望が描けない、子育てしづらい社会環境など
-------	--

市・区・地区民児協として児童委員活動を推進することが大切です

- 主任児童委員部会だけではなく、区民児協定例会等での情報共有、意見交換を図る機会を確保しましょう
- 地区定例会を有効に活用し、主任児童委員と児童委員の課題共有・コミュニケーションを促進しましょう
- 主任児童委員の取り組みや意見を取り入れ、子ども・子育て家庭・学校などの課題に関する情報共有、意見交換の機会を確保しましょう
- 主任児童委員の役割が正しく地域に理解されるよう、民児協として周知・サポートしましょう

令和6年度 地区民児協会長研修会

北九州市民生委員児童委員協議会 活動研究委員会 委員長 河野はつえ

日程：6月18日（火）

場所：ウェルとばた

2階多目的ホール

令和6年度地区民生委員児童委員協議会会長研修会が、6月18日（火）に、ウェル戸畠2階多目的ホール等にて開催されました。

講師に、西南女学院大学保健福祉学部教授の中島俊介先生をお迎えして「活発で意見の出やすい集団作り～心理的安全性の観点より～」をテーマに講演をいただきました。

前半は「心理的安全性（集団の中で心配しないで率直に話すことができる）」について、集団で話す力の育て方や相手に安心して話してもらうための対人スキルをご教示いただき、とても勉強になりました。

後半は、事例とともに、「活発で意見の出やすい集団作りについて話し合おう」というテーマで、3会場に分かれ、グループワークを行い、時間が足りないほどの盛り上がりでした。どうしたら新任の委員が発言しやすい場を作ることができるか、会長経験の長い地区会長が熟考する場面が見られ、大変有意義な研修となりました。

令和6年度 市民児協評議員会

地区民児協会長研修会終了後、評議員116名が出席し、令和5年度の活動報告・決算についての審議が行われ、承認されました。



西南女学院大学 教授 中島 俊介 氏



グループワークでの意見交換

報告

市長と市民児協正副会長の懇談会

日程：7月25日（木） 場所：北九州市役所

この懇談会は、昭和62年に民生委員児童委員制度創設70周年記念事業として始まりました。本年度は、武内市長並びに保健福祉局、子ども家庭局の代表者と懇談しました。市民児協から、昨年度の民生委員・児童委員の活動状況報告を行った後、各区における活動の現状や増加し続けている単身高齢者世帯への対応等についての話題が上がり、今後の活動において、大変有意義な懇談会となりました。



懇談会の様子



武内市長と市民児協正副会長

月 第39回リレーエッセイ

地区の事情で五月より主任児童委員から世帯担当委員になりました。これからも「ふわふわことば」と「ちくちくことば」を意識して、活動に役立てていこうと思います。

小倉北区南丘地区
民生委員児童委員協議会
秋田 佳代子

『ふわふわことば』と『ちくちくことば』を知っていますか？「うさい、キモい、ムカつくなど、嫌な気持ちにさせることばを『ちくちくことば』と言います。「間違っている、ダメ」など、言動や考え方を否定することばも『ちくちくことば』の仲間にあります。「違うよ、ダメよ」を無意識に使つていませんか？気づかないうちに相手を傷つけているかもしれません。反対に『ふわふわことば』は、「ありがとうございます」「うれしいね、大丈夫？」などの、ほめたり、元気づけたりすることばです。

「ことば選びの大切さ」

次回は、小倉南区の民生委員・児童委員さんです。お楽しみに！

特集

民生委員活動件数について



令和5年度の民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動件数について報告します。

昨年度に比べ、相談・支援件数は、世帯担当委員、主任児童委員ともに若干数減少しました。一方、連絡調整回数は増加傾向にあり、ふれあいを通じた「つながりづくり」が活発になってきています。コロナ渦での活動は主に電話等での安否確認や情報提供を中心に展開してきましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行を期に、交流型の支援活動にシフトしています。

民生委員活動件数について

世帯担当委員				主任児童委員		
項目	R5年度	R4年度	比較	R5年度	R4年度	比較
相談・支援件数	58,148	61,012	-2,864	3,762	3,826	-64
訪問回数	285,382	284,641	741	2,702	3,473	-771
連絡調整回数	98,127	94,211	3,916	18,166	17,516	650

特集

ICT化で活動の効率化、負担軽減がはじまります！



市民児協では、令和6年8月より、インターネット回線付のタブレット端末を委員に貸与し、会議や研修のオンライン参加、連絡事務、情報・資料の共有や提供など、委員の活動の効率化・負担軽減に向けたモデル事業を開始しました。タブレット端末の貸与対象は市民児協の正副会長、理事、主任児童委員、計35名。8月より順次、タブレット端末の貸与を開始し、取扱いに関する手厚い研修やリモートでサポートしながら、実際の委員活動の中で活用いただきます。

活動の効率化や、負担軽減の効果を検証しながら、来年度以降の活用方法の検討を行っていきます。



会議・研修・
打ち合わせの
オンライン化

事務連絡・
共通スケジュールの
管理、出欠連絡の
簡素化

会議資料・
チラシ類の
ペーパレス化

災害時など
緊急時の安否確認
・連絡など

注釈

「ICT」とは、人とインターネットをつなぎ、情報のやり取りを行う技術の総称で、ここでは情報技術を活用して民生委員・児童委員活動の効率化を目指すことを含めた意味で使用しています。

広報委員(八幡東区高槻地区)
松田 京子
私は、主任児童委員を経て、
世帯担当民生委員として活動し
ています。
第54号の主任児童委員30周年の
原稿を読み、改めて、委員を受
けた時の初心を忘れずに、元気
に活動を続けたいと思いました。

編集後記

春の叙勲

ご受章おめでとうございます。



小倉南区
土井智子氏

の土井智子氏
(小倉南区)が瑞
宝單光章を受章
されました。

民生委員として
長年にわたり
地域活動に貢献
された、元民生
委員・児童委員
されまし。

民生委員のQ&A

◎見守り対象世帯で安否確認の取れない心配な方がいます。どうすれば?

A 地域包括支援センターや区役所保護課、介護保険事業者、親族など、普段から関わっている機関・関係者の連絡先が分かる場合は、落ち着いてそちらに確認しましょう。連絡先が分からず、安否がわからない場合は、区役所保健福祉課（いのちをつなぐネットワークコーナー）に連絡して支援を要請しましょう。

（※市民児童協議会より第53号Q&Aも参照。）

活動は楽しく、真剣に！

小倉南区守恒地区

民生委員児童委員協議会

地区会長 西本 澄雄

守恒校区は、人口約13000人、世帯数約6500、20町内会で構成する小倉南区では比較的人口の多い校区です。守恒地区民児協は世帯担当11人、主任児童委員2人の13人で和気あいあいと楽しく活動しています。守恒校区の民児協は、まちづくり協議会、社会福祉協議会の組織の一員として、校区の行事にも積極的に参加しています。

1月の「守恒校区新春の集い」では13名で「民生委員の歌」を披露、2月のSOSネットワーク搜索模擬訓練では帰り道がわからなくなつた高齢者の搜索訓練に参加、3月の「守恒ウォーキング」では鷺峰山まで徒歩訓練に参加しています。また、6月の「まちづくりスポーツ大会」では上位入賞を狙つて参加しました。7月の「守恒夏祭り」ではフランクフルト、ソフトドリンクの売り上げを活動の資金にしていましたが、コロナと小学校の改修工事のため休止していました。昨年より市民センターで規模を縮小して再開されましたので今年はポップコーンを販売しようと張り切っています。9月の「敬老会」ではステージで毎年趣向を凝らして歌や踊りを披露していく、今年は「花笠音頭」を踊ります。踊りの指導、衣装とも民生委員の有志が担当します。また、12月の「ふれあい守恒」では昔遊び「けん玉」を担当します。このように1年を通じて校区の行事に積極的に参加しています。コロナ発生の前までは毎年12月に親睦旅行を行っていました。毎年積み立てを行い、9月くらいいから目的地を話し合い、主任児童委員の幹事が綿密な計画を練つてとても楽しい旅行でしたので、また復活できたらと思っています。

これからも守恒校区の民児協は仲良く、楽しく、真剣に活動していくます。



盛り上がる敬老会♪

活動最前线 ほつとひろば

主任児童委員制度

創設30周年を迎えて

八幡西区陣山地区

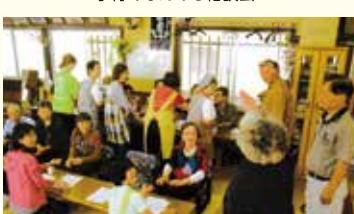
民生委員児童委員協議会

主任児童委員 山口 裕子

主任児童委員を受けた時に小学生だった娘も今では高校最後の年となり、振り返るとあつという間に9年もの時が過ぎたことに驚いています。共に活動していた先輩には、赤ちゃん訪問や小学校訪問の際、どういったことを訊ねたら良いかや、行事などあれば少しの時間でも観覧し、子どもたちの様子を気にかけてあげることが大事だと教わりました。その先輩も私が二期目に入るときには卒業され、私自身が先輩にならざるを得ない状況が来ると謎のプレッシャーに襲われるようになります。父が脳梗塞で突然仕事ができなくなつたのも、ちょうどその頃でした。私が父の仕事を引き継いだので、毎月の民生委員の定例会に参加できなくなつたり、行事などの参加が難しくなつたり、皆さんに迷惑をかけることも増えました。しかし、「無理しなくていいよ、できることだけ大丈夫」と陣山地区の皆さん



子育てなんでも相談会



年長者対象のふれあいサロン

が仰ってくれたおかげで、なんとか今日に至っています。

ちょうど今年は、主任児童委員制度創設30周年という節目の年で、定行部会長と共に部会のメンバーと一緒に活動しています。他の地区の方とお話しする機会も増え、微妙に活動のやり方が違つたり、こんなやり方もあるのかと気づかされたりもします。そして今回の30周年のスローガンは、部会のメンバーの皆さんと一緒に活動しています。

のやり方が違つたり、こんなやり方もあるのかと気づかされたりもします。そして今回の30周年のスローガンは、部会のメンバーの皆さんと一緒に活動しています。他の地区の方と一緒に活動してきました。

『学期ごとに地区内の学校を訪問しよう』

『学童クラブや児童館との関わりを持つ』など、定期的に継続していく必要がある内容です。主任児童委員の皆さんが活動の中で孤立することなく、一緒に悩んだり、笑つたり楽しく活動できる場が続くことを願います。